

各種団体等と市議会との意見交換会実施結果報告書

テーマ：空き地や活用されていない土地の活用について
 市内、市外の方がたくさん集まる場所が欲しい
 子育て世代に対するサポートについて

開催日時	令和6年7月5日（金） 午後2時から午後3時30分まで
開催場所	鹿児島水産高等学校 視聴覚室
参加者数	12名（鹿児島水産高校）

○意見交換会での意見・要望及びその回答

<テーマ1：空き地や活用されていない土地の活用について>

番号	参加者の意見・要望	議会としての回答
1	桜山のパチンコニューヨーク枕崎店近辺や火之神、空港跡、仁田浦近辺には空き地がたくさんあるように見える。そういった空き地にコンビニや企業の誘致はできないのか。	火之神公園のキャンプ場は無料であり、近年のキャンプブームでにぎわいを見せている。そこに隣接する土地を環境保全の目的から、市が取得して再利用しようと模索中である。 仁田浦周辺はもともと市が整備管理して所有していたが、ほとんどの場所を平成の時代に誘致し、企業に売却し、現在はいくつかの工場が稼働している。 コンビニや企業の誘致に関してはその会社の出店基準（人口、交通量など）があるため、立地条件に見合うかしっかりリサーチしてつくるものと思われる。
2	市内には、空き地がたくさんあるように見える。そういった空き地にほかの市にない商業施設は設立できないのか。 [補足説明：ほかの市と差別化された商業施設を設立すれば枕崎市民の雇用なども促進される。また、枕崎市に市外からのお客さんが多くなることで、枕崎市内の店で買物、食事をしてもらえれば枕崎のお店にもよいのではないか。]	枕崎市や各種団体が出資しているお魚センターがあり、リニューアル後に大変にぎわっている。また、既存の飲食店等を利用することで、各店も繁盛し売上げが伸び、雇用も生まれてくるのではないかと思います。
3	桜山のパチンコ店の周り、もしくはパチンコ店の駐車場にコンビニはできないか。	田んぼは休耕田であり、個人所有となっている。また、駐車場もパチンコ店の所有であることから、コンビニの出店は両者の話し合いになると思われる。

<テーマ2：市内、市外の方がたくさん集まる場所が欲しい>

番号	参加者の意見・要望	議会としての回答
1	家族連れが気軽に遊びに来ることができる場所（人が集まる公園、ファストフード店）などがあれば市外からのお客ももっと増えるのではないかな。	今年4月にリニューアルされたお魚センターや火之神公園のほか、台場公園にはトモダチパークとして幼児用の遊具や健康器具が整備されている。また、現在火之神公園近くの養豚場跡地を環境（景観）保全目的で市が取得し、今後の跡地利用について検討中である。 ファストフード店に関しては、民間企業になるため、人口や人口動態等をしっかりリサーチする必要がある。
2	野外で多様なスポーツができる運動公園のようなものが欲しい。	冬は大学のキャンプや合宿があり野球場の利用が多いが、雨天時の練習に困るため、室内練習場が必要となる。しかし、野球に特化せずに多様なスポーツ等で雨天時に利用できる屋根付きの広場ができないか市に要望している。
3	枕崎には夏の祭り（きばらん海）があり毎年多くの人々が枕崎に集まる。冬にも祭りができれば夏と冬に多くの人々が枕崎市に集まるのではないかな。	現在、秋にはハロウィンフェスタ、春には春の市が実施されている。お祭りイベントを今後も盛り上げていくためには、発想の転換も必要である。実施時期を検討して、福岡や大阪などの都会で「きばらん海」は開催できないか、また冬のお祭りも十日えびすなどを中心に充実させていくことはできないかなど、いろいろ検討して枕崎市の活性化につなげていけたらよいと思う。

<テーマ3：子育て世代に対するサポートについて>

補足説明：近隣の市では小学校、中学校の給食費が無償化されている。昨年、医療費が18歳まで無償化となったと聞いたので、給食費も無償化できれば子育て世代にもよいのではないかな。

番号	参加者の意見・要望	議会としての回答
1	給食費無償化など、子育て世代にスポットライトを当てた政策をすることで、一度枕崎や鹿児島を離れた人たちが地元の枕崎で子育てをしようとして戻ってくるようになれば、人口減少に歯止めがかかり、さらには枕崎にあるスーパーや飲食店の利用も増え、活性化に繋がるのではないかな。	【回答1】学校給食法第11条では給食費は保護者の負担とすると規定されている。義務教育の本質は、将来、国を背負って立つであろう子どもたちに健全な心身の発達と精神を持ってもらうことである。所得によっては大学であっても無償になる場合があるように学習支援は進んでいる。この

		<p>ような状況にあることから、給食費無償化は時間の問題だと考えている。</p> <p>市町村の財政の問題でいうと、本市の児童生徒は1,218人。給食費は月に小学生4,300円、中学生5,000円。年間約5,000万円が必要となる。この額を本市は用意できないと言っている。他市はすでに取り組んでいるが、本市では継続の可能性を心配している。約5,000万円をどのように捻出するかが問題であるが、人件費を1%カットすると5,000万円を超す。そのような取組も可能である。</p> <p>10数年前に国は、「子育て世代の生徒の生活状況等に関するアンケート調査」を実施している。</p> <p>回答の中で、一番負担が大きいと感じているのが「学校給食費」であり、304人が回答して39.5%。次が「学校以外の教育費・塾や通信教育費」で、254人で33%。次が「負担が大きいと感じているものはない」といった回答となっている。</p> <p>【回答2】市長の見解として、給食費に関しては親が払うべきという考えと結論は出ている。個人的な意見として、義務教育の中で給食・食育というのは、国が無償化すべきだと考えている。市長が言われていることは立派なことで、私も親が払うべきだという意見であるが、現実的には貧困の話がある。義務教育課程においては、給食費つまり食育は、国が担うべきだと考えている。全国の自治体でも無償化の動きは、なかなか動かない国に対し、我がまちの子供たちは我がまちで守ろうという動きであると考えている。</p> <p>一方で、自治体の中には、給食費を無償化したものの財源が厳しいと止める自治体もある。枕崎では、ふるさと納税という寄附金財源が激減している現状から、独自の無償化は厳しいと考えている。</p>
2	<p>現在、枕崎市の給食費の一部を枕崎市に負担してもらっている状況にあると思っているが、親が払うべきという考えは理解</p>	<p>【回答1】就学援助として、支援が必要な方に対しては既に全額を補助している。加えて、給食費を負担する親がその物価高騰</p>

	<p>できるが、少しだけ負担しているのはなぜなのか。</p>	<p>等による負担を抑えるという点で、枕崎市は一人当たり300円の補助をしている。本来、一月当たりの給食費は、小学生が4,300円、中学生が5,000円であるため、それぞれ300円を差し引いた額が実際に払う親の負担額となっている。</p> <p>【回答2】給食の地産地消という考え方をとれば、負担する給食費の中でおいしい給食を食べられて、他と比べておいしいんだということが市民の意識の中に広まると考えることも一つの方向性ではないだろうか。</p> <p>そこには、金銭的な親の負担があるけれど、地元の生産品を使用し、物価高騰部分について増額になる部分に対して枕崎市が負担をすることができれば、今と同様の金額で他にはないおいしい給食を食べられる枕崎という魅力が生まれるのではないかと。</p> <p>枕崎の良さがどこにあるのかを考えて、それを高校生にも提案してもらおう。その提案を議員と一緒に何かしら形にしていく活動もあって良いのではないかと考える。</p>
<p>3</p>	<p>他市が無償化できているのに、どうして枕崎市は無償化できないのかという疑問があり、それが何か嫉妬のようなものになっている。国で無償化するなり、保護者が払うなり、どちらかに統一することは難しいのか。</p>	<p>【回答1】現在、国でも子育て政策を前面に出して取り組んでおり、新聞報道でもあったように文部科学省が全国の自治体を対象として調査もしている。</p> <p>国の方針として、まず全国の状況を調べ、無償化も含めた話を進めるという、段階を踏んだ施策となっており、まだ検討が実現に至る段階になっていないという現状である。</p> <p>全国一律に無償化しようとする、アレルギーがあり給食を食べられない児童生徒や、そもそも給食自体がない学校もある。そういう人たちとの公平性をどのように保つのかなど様々な議論がある。一足飛びに国がお金を出すから無償化しようという状況にはなっていないところである。</p> <p>【回答2】国も昨年6月、「子供未来戦略方針」の中で、給食費無償化の実現に向けた具体策を検討すると明記している。新しい</p>

		<p>国会など早晚実施されるものと考えているが、財源が約5,000億円かかるようである。</p>
		<p>【回答3】国全体として、給食費無償化に進んでいるのは間違いない。2年前に全ての政党が公約にあげていることから、個人的には5年以内を実現するのではないかなと思っている。今後は、少子化の影響もあり、3,500億円程度の財源で給食費無償化は可能であろうと考えられる。</p> <p>日本国憲法第26条、義務教育は無償にするという根拠から教科書も無償化になっていることと同様の流れで、給食費も無償化になると考えている。青森県のように、県全体で無償化にしている県もある。</p> <p>給食費の論議になると、近隣市に人口流出するという。実際にそれも現実なのかもしれないが、個人的に思っているのは、我が枕崎市は水産高校を中心に全て学校の教育水準を上げることで、給食費無償化だからと言って近隣市に移るような事態を招かないようにするという気概を持つべきだと思っている。</p>

<その他：JR指宿枕崎線について>

番号	参加者の意見・要望	議会としての回答
1	<p>通学で利用しているJR指宿枕崎線は今後どうなっていくのか気になる。鹿児島市からJR指宿枕崎線を利用して通学している生徒もあり、今後も存続を希望したいが、どのように考えているか。</p>	<p>【回答1】枕崎の子どもたちが減ることから、水産高校も枕崎高校もだんだん生徒数が減ってくると考えている。私見であるが、JRの沿線に高校を設置して学生が乗れば、廃線する方向にはならないのではないかな。枕崎高校と水産高校が一緒になって学校の規模を大きくし、学校の通学に使うことが一番有効ではないかなと個人的に思っている。</p> <p>【回答2】通学でJR指宿枕崎線を利用している生徒もいる。枕崎市は、JR指宿枕崎線を守ってくれている生徒の通学定期を買う生徒たちに対して補助すべきだと思っている。</p> <p>以前の議会で、新規採用職員は白沢地区に住んで市役所まで通勤してもらおう。子育て</p>

		<p>てが終わった頃は、自分の好きなところに家を建てるなりする。そうすることで、別府小学校や別府中学校も児童生徒が増え、J R 指宿枕崎線の活性化につながる。</p> <p>J R 指宿枕崎線の1日乗車率が算定されるのは水産高校によるものである。この学校が存続する以上、J R 指宿枕崎線は必要だと思っている。そして枕崎だけではなく、隣の指宿や喜入などからも高校生の方が利用している。私が議員になった頃は、寮が足りないから増やしてほしい、建物や部屋を増やしてほしいという要望などがあったことを覚えている。</p> <p>絶対にJ R 指宿枕崎線は必要である。</p> <p>【回答3】 去年10月から、J R の線路を維持するかどうかを協議する再構築協議会を設置する法律が新しくできた。今、広島県と岡山県にかかる芸備線に関して協議をしているが、鹿児島県はJ R 九州と再構築協議会で話し合う際に、J R 線を廃止するという前提では話合いにはのらないと言明している。よって、J R 指宿枕崎線は今のところ継続・存続することについては間違いないと考えている。</p>
--	--	--